



元気に挨拶 笑顔で挑戦 夢が広がる大北小

# 大北がより

<http://www.ooizumi-n-e.nerima-tky.ed.jp/>

10月号臨時  
学校評価号②  
令和3年 9月 30日  
練馬区立大泉北小学校  
校長 松井 貴子



見方を変えてみる、見え方が変わる  
やり方を変えてみる、考え方が変わる



校長 松井 貴子

9月は緊急事態宣言により1ヶ月間、午前授業で給食をとって下校となり、午後はオンライン学習支援や家庭学習習慣定着ウィーク取り組みました。学校では、ニューノーマルな学習を家庭と共にすすめています。7月に2年生～6年生が行った児童による学校評価を9月始め1年生も実施しました。1年生を加えての結果は下記の通りです。

〈児童による学校評価の肯定的回答90%以上の項目〉

学校は楽しいですか。91%

あなたは、友達と話し合い、仲良く活動していますか。94%

あなたは、タブレットPCを使って楽しく勉強していますか。91%

あなたは、みんなの決めた目標や学校のきまり、交通ルールなどを守っていますか。93%

あなたは、「自分の身は自分で守る」ために、安全な行動をしていますか。94%

「あけましておーきた」を守り、感染予防に気を付けていますか。91%

〈児童による学校評価の肯定的な回答が80%以上90%未満の項目〉

あなたは、いろいろなことに笑顔で挑戦していますか。84%

あなたは、すすんであいさつや返事をしていますか。89%

あなたは、相手の話を「目と耳と心」でしっかり聞こうとしていますか。87%

学校の授業は楽しく分かりやすいですか。89%

あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活できていますか。82%

あなたは、自分で学習計画を立て、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。85%

あなたは、お家の人に学校での出来事や様子をよく話していますか。82%

あなたは、すすんで運動したり、外で遊んだりしていますか。81%

あなたは、友達や学校のみみんなの役に立つことを考えたり、行動したりしていますか。82%

あなたは、友達のよいところを伝えたり、感謝の気持ちを言葉にしたりしていますか。83%

あなたは、夢や目標について考えたり、他の人と話をしたりしていますか。82%

〈児童による学校評価の肯定的な回答が80%いかなかった項目〉

あなたは、すすんで読書をしていますか。(辞書や図鑑、新聞、電子書籍を含む) 75%

先生方(心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・支援員・あおぞらルームなどを含みます。)は相談しやすいですか。令和2年度より20%上昇し79%

あなたは、自信をもって自分のよいところを言えますか。令和2年度より9%上昇し69%

9月にお知らせした結果と大きく異なることはありませんでした。昨年度課題となってい

た「児童からの相談」の項目は、スクールソーシャルワーカーやおおぞら（巡回指導教員）との連携体制も強化し、全教職員での挨拶プラス声掛けなどを今まで以上に意識して実施するなど、相談しやすい環境づくりに努めたことにより、20%の上昇が見られました。

また、御家庭でもコロナ禍、タブレット端末活用への協力や学校や友達のことを話せる環境づくりに力を入れてくださっており、「あなたは、お家の人に学校での出来事や様子をよく話していますか。」5%上昇が見られました。

子どもたちの社会性を育み、相談しやすい関係づくりは欠かせません。また、授業での協働的な学びには、「傾聴の姿勢」がとても大切です。今後、更に力を入れて参ります。

ところで、本年度、ニューノーマルな学習を家庭と共にすすめている背景には、GIGA スクール構想があります。GIGA スクール構想とは、「Global and Innovation Gateway for All」の略で児童生徒向けの一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され創造性を育む教育を、全校の学校現場で持続的に実現させる構想です。

そして、今年は児童に一人一台タブレット端末が配布されました。児童の学習道具として捉え、自在に使えることをめざし、様々な場面での実践を積んでいます。

かつて国語辞典や英和辞典などを机上や机横の手提げに入れ、授業で分からない言葉があると競って調べる子供たちの姿がありました。疑問に思ったらすぐその場で調べようという学習ルールがあり、子供たちは、毎日重い辞書を絶えず持ち歩いていました。国語はもちろん社会科でも理科でも、「この言葉の意味は？」と誰かがつぶやいたり質問したりすると、我先にと調べ始め、30秒もしないうちに次々に辞典で調べた意味を発表して、みんなで言葉の共有をし、考えを深める話し合いをしていました。更に、自然と予習する習慣も定着し、調べたことを根拠に考え練り、自身の述べる熱い授業が展開されていました。

同じようにタブレット端末は、その場で調べることができる便利な学習道具です。しかもその情報量は膨大です。子供たちは自分の傍に知識の世界が広がっており、直ぐにアクセスできるのです。また、瞬時にたくさんの人と意見交流も可能です。現在使い始めではありませんが、本校90%以上の子供がタブレットPCを使って楽しく勉強していると回答しており、嬉しい限りです。

創造とは無から有を創り出すことを表すこともありますが、既存の要素や素材を独自に組み合わせ、新しいタイプの物事を創り出していくことです。ですから、タブレット端末を上手に活用して、自らすすんで調べる、探究心の高い子供を育てたいと考えています。

もちろん心配されている健康課題や情報モラルについては、予防対策や危険回避能力を高め、SNS 空間も思いやりの心を育む場所としていくように同時に学ばせていく必要があります。私たち大人も日々変化を受け止め、見方を変えたり、やり方を変えたりして、時代の求める新しい学校を創造していきたいと思えます。子供たちにも、学びを深め、クリエイティブに未来を切り拓いてほしいと願っております。

令和3年度後半も、児童による学校評価結果を活かし、教育活動の取組効果が上がっているものは継続発展させ、また未来を見据えて新しい挑戦企画も取り入れながら、教職員一丸となって努力して参ります。引き続き、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。